



金融庁では、当庁施策の紹介や説明を含め、その活動状況等について、各種刊行物等への執筆を行っており、ウェブサイト上で公表しています。本稿でもその一部について掲載いたします。

～最近掲載された寄稿等のご紹介～

◆ [暗号資産制度の見直しを打ち出した金融審WG報告書の要諦](#)

企画市場局 市場課長 齊藤 将彦、市場課 課長補佐 富永 三友紀、課長補佐 竹岡 直紘  
(週刊金融財政事情 2月10日号)

◆ [不動産セキュリティ・トークンに関連する近年の金融商品取引法の動向](#)

企画市場局 市場課 課長補佐 船岡 諒、市場課 専門官 福原 亮輔  
(Fund Review Opinion Collection ー不動産金融市場の20年 1月号)

◆ [金融庁における金融犯罪対策に関する最近の取組みと留意点](#)

総合政策局 リスク分析総括課 金融犯罪対策室長 齋藤 豊  
(CISTEC Journal 1月号)

👉 その他の寄稿等についても、[金融研究センターウェブサイト](#)を是非ご覧ください。

## 編集後記

アクセスFSAをご覧頂きありがとうございます。今月号は、金融審議会・市場制度WGの議論や地域銀行における人材支援に関する分析、AIディスカッションペーパー（第1.1版）などについて解説記事を掲載しています。また、連載企画「金融庁職員が語る！金融行政の実務」は、今月号より、新たなデジタル技術を用いた金融サービスへの対応に関する取組みを担当しているフィンテック部門を取り上げていきます。是非お読みください。

さて、金融庁広報室では、3月初めに、金融庁ウェブサイトのユーザビリティ改善のために一部デザイン変更を行いました。これは、外部の調査会社からも改善提案をいただき、出来ることから順次始めているものです。例えば、トップページでは、「重要なお知らせ」の中から「注意喚起情報」を括りだして表示する、「新着情報」の各情報に『報道発表』『記者会見』『審議会等』などの一貫性ある分類を表示する、といった改善を図りました。また、過去の新着情報一覧は、年度毎に区切って情報の整理を行い、バックナンバーを遡って閲覧しやすくしました。もしかすると閲覧頻度の高い方にしかわからない(?)部分かもしれませんが、利用者の方々が、少しでも担当部局が発信する広報内容へのアクセスがしやすくなるよう、今後も改善を続けてまいります。

金融庁広報室長 久米 均

編集・発行：金融庁広報室

(※本稿において意見に係る部分は筆者の個人的見解であり、所属組織の見解を示すものではありません。)